



第41回大曲・仙北田沢湖一周駅伝競走大会・
第16回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会
中学生が田沢湖畔でたすきつなく

8月30日、田沢湖畔で「第41回大曲・仙北田沢湖一周駅伝競走大会」「第16回大曲仙北中学校田沢湖女子駅伝競走大会」が行われ、それぞれ31チームが参加しました。

男子（一周駅伝20.6km）は千畑Aが1時間7分27秒、女子（女子駅伝12.6km）は千畑Aが44分8秒で優勝しました。

順位（市内中学校）
男子 3.角館A 7.西明寺A 9.生保内A
12.角館B 16.神代A 21.桧木内
27.生保内B 28.西明寺B 29.神代B

女子 5.角館A 7.生保内A 17.桧木内
19.角館B 24.西明寺 27.神代
29.生保内B



第6回仙北市ソフトテニス大会
21組が熱い戦いを展開

8月28日、西明寺中学校テニスコートを会場に、第6回仙北市ソフトテニス大会が行われ、21組が熱戦を繰り広げました。

大会成績（敬称略）
一部
優勝 蘭藤・仙葉ペア（西木ク）
準優勝 高橋・佐藤ペア（田沢湖ク・角館高）
第3位 斯波・高橋ペア（西木ク）

二部
優勝 伊藤・高藤ペア（田沢湖ク）
準優勝 高橋・松田ペア（角館ク・田沢湖ク）
第3位 鈴木・進藤ペア（西明寺中）



仙北市バドミントン Jr. スポーツ少年団
三浦悠君、及川貴博君が上位入賞！

第17回東北小学生バドミントン大会県予選が、8月7日、能代市総合体育館を会場に開催されました。

この大会には、生保内、西明寺、桧木内の各小学校から13人が出場し、シングルの部で4人が上位入賞を果たしました。

6年生以下男子シングルの部では、菅大我君（桧木内小）が準優勝と活躍し、10月8日から山形県で行われる東北大会に出場することになりました。

上位入賞者（敬称略）
男子2年生 優勝 三浦 悠（生保内小）
男子6年生 準優勝 菅 大我（桧木内小）
男子3年生 3位 及川 貴博（西明寺小）
女子3年生 3位 鈴木 怜奈（生保内小）



第38回東北総合体育大会馬術競技
市内選手、好成績を収める

8月27日と28日、第38回東北総合体育大会馬術競技が青森県十和田市で行われ、市内在住の選手が好成績を収めました。

上位の成績を収めた4選手は、10月2日から開催される山口国体に秋田県選手団として出場することになりました。

大会成績（敬称略）
三浦 裕芽子 成年女子馬場馬術競技 1位
成年女子標準障害飛越競技 3位
阿部 大輔 成年男子国体総合馬術競技 4位
成年男子馬場馬術競技 2位
小澤 勝芳 少年馬場馬術競技 1位
藤村 香菜子 成年女子二段階障害飛越競技 1位
成年女子標準障害飛越競技 2位



藤村選手：二段階障害飛越競技 小澤選手：馬場馬術競技

まちづくり
日記

No.31

「お祭りの力」

仙北市長
門脇 光浩

7日から9日未明にかけ、角館祭りのやま行事で、張番さん巡りをさせていただきました。「市民が安全な毎日を過ごせますように、所得が上がりやすいように…」など、市政課題の解決を、（恥ずかしいながら）神様にお願ひして歩きます。副市長・教育長も一緒に、ワイワイと結構にぎやかです。

この張番さん巡り、実は相当な体力勝負です。皆さんどこでも御神酒（おみき）を進めてくださいまして、全部飲み干さないとなかなか願ひ事を聞いてくれないような気がします。言われるがままに杯を重ね、これを繰り返すと、通常は2〜3箇所を張番さんを回るだけで、「ホジ」を落とします。

自分は、張番さん巡りを何年もしています。長い修行の中、完全に「ホジ」を落とさないよう、半分「ホジ」を残す技術を身に付けました。そんな状況で、町内の皆さんのお話しを聞くと、今年の張番さんでの話題ベスト3は、「お祭り」と新病院建設と所得税の不正還

付」の3つだったようです。お祭りのお話しはインドレスに続きます。哀しいかな、にわか勉強程度の知識では理解できません。次に新病院建設のお話し、建設場所が決まっているとか、何とかという偉い先生が来ることになっているとか、初めて耳にするお話しもあってビックリ。

所得税の不正還付のお話しでは、市民の多くが傷ついていることを感じました（これは職員も同様です）。当時の職場の雰囲気、赤信号みんなで渡れば怖くない、が、原因の根っこではないかと指摘する方もいました。

例えば動機が郷土愛、職場愛だったとしても、違法行為です。人生は間違っただけをしたらこれを認め、正すべきを正す、そして再スタートする覚悟が大切です。

張番さんで笛や太鼓、若衆の歓声を聞きながら御神酒をいただくうち、「仙北市の未来はきっと明るい」と思えてきました。お祭りの力でしようか。

大震災支援 NEWS & Information
ニュース&インフォメーション

問合せ：東日本大震災支援本部 ☎ 43-0261

交通手段の確保に一役
山田町にマイクロバスを寄贈

8月31日、仙北市から岩手県山田町に、マイクロバスが寄贈されました。

桧木内小学校に新たなスクールバスが納車され、今まで活用していたスクールバスを、震災の影響で車両確保に苦労している、岩手県山田町の皆さんに役立ててもらうため、この度の寄贈となりました。

沼崎喜一町長より「この度の被害で、福祉バスが廃車になり苦慮していた。大変ありがたい」と感謝の言葉が述べられました。



8月23日には桧木内小学校で新型バスがお披露目され、今まで使用していたスクールバスが山田町へ送られる説明があり、6年生の若松政崇君が「被災地でも活躍してほしいです。これまでありがとうございます」とお礼の気持ちを伝えました。



贈呈式で沼崎喜一町長へ鍵を手渡した